

野村新エマージング債券投信（南アフリカランドコース） 年2回決算型

運用報告書(全体版)

第18期（決算日2018年12月25日）

作成対象期間（2018年6月26日～2018年12月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2010年2月24日から2024年12月25日までの予定です。	
運用方針	主として、円建ての外国投資信託である、アライアンス・パースタイン・ファンドⅢ ノムラ・エマージング・マーケッツ・ボンド・ポートフォリオークラスJ ZAシェア受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、米ドル建ての新興国の国債、政府保証債、政府機関債および社債（以下「エマージング債券」といいます。）を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、アライアンス・パースタイン・ファンドⅢ ノムラ・エマージング・マーケッツ・ボンド・ポートフォリオークラスJ ZAシェア受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および、流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。	
主な投資対象	野村新エマージング債券投信 （南アフリカランドコース）年2回決算型	アライアンス・パースタイン・ファンドⅢ ノムラ・エマージング・マーケッツ・ボンド・ポートフォリオークラスJ ZAシェア受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	アライアンス・パースタイン・ファンドⅢ ノムラ・エマージング・マーケッツ・ボンド・ポートフォリオークラスJ ZAシェア	米ドル建てのエマージング債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
	野村新エマージング債券投信 （南アフリカランドコース）年2回決算型	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への直接投資は行いません。
分配方針	野村マネー マザーファンド	株式への投資は行いません。
	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 組 入 比 率	信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分 配 金	騰 落 率					
	円	円	%	%	%	%		百万円
14期(2016年12月26日)	14,414	10	28.5	0.0	—	98.9		41
15期(2017年6月26日)	16,299	10	13.1	0.0	—	98.9		47
16期(2017年12月25日)	17,940	10	10.1	0.0	—	98.9		52
17期(2018年6月25日)	15,716	10	△12.3	0.0	—	98.9		27
18期(2018年12月25日)	14,798	10	△5.8	0.1	—	98.1		9

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 組 入 比 率	信 託 券 率
		騰 落 率	率				
(期首)	円	%	%	%	%	%	%
2018年6月25日	15,716	—	0.0	—	98.9		
6月末	15,327	△2.5	0.0	—	98.8		
7月末	16,530	5.2	0.0	—	99.0		
8月末	14,508	△7.7	0.0	—	98.9		
9月末	15,749	0.2	0.0	—	98.9		
10月末	14,918	△5.1	0.1	—	99.6		
11月末	15,916	1.3	0.0	—	99.7		
(期末)							
2018年12月25日	14,808	△5.8	0.1	—	98.1		

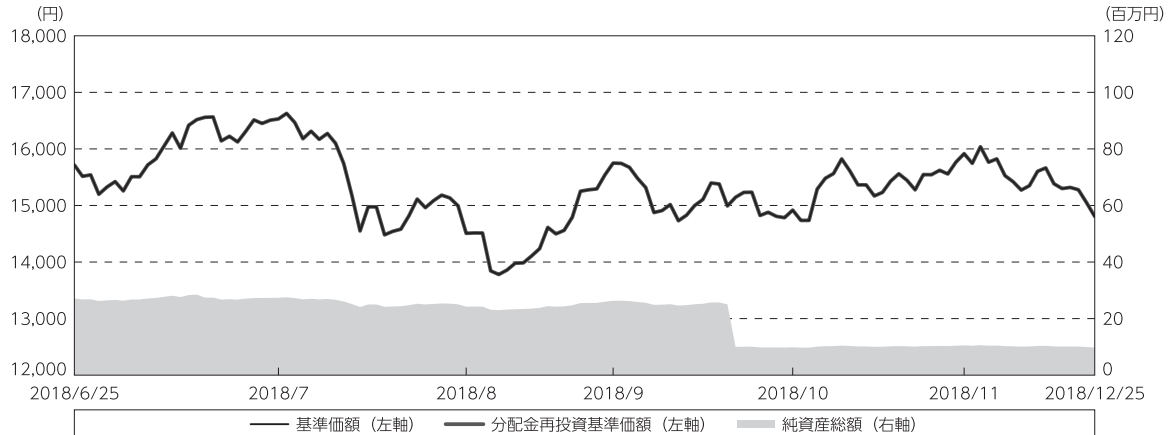
*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：15,716円

期 末：14,798円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率：△ 5.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2018年6月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- ・ 実質的に投資しているエマージング債券からのインカムゲイン（利息収入）
- ・ 実質的に投資しているエマージング債券からのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）
- ・ 為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）
- ・ 円／南アフリカランドの為替変動

○投資環境

新興国債券市場は、先進国の金融政策の動向や新興国の主要経済指標などに左右される展開となりましたが、原油価格の上昇やトルコ中央銀行による利上げの実施、米中貿易摩擦に対する懸念が後退したことなどを背景に堅調に推移し、当作成期間においては値上がりとなりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村新エマージング債券投信（南アフリカランドコース）年2回決算型]

[アライアンス・バーンスタイン・ファンドⅢ ノムラ・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオークラスJZAシェア] および [野村マネー マザーファンド] の受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [アライアンス・バーンスタイン・ファンドⅢ ノムラ・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオークラスJZAシェア] の受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持しました。

[アライアンス・バーンスタイン・ファンドⅢ ノムラ・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオークラスJZAシェア]

米ドル建ての新興国の国債、政府保証債、政府機関債および社債（「エマージング債券」といいます。）を中心に投資するとともに、外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引等を活用しました。

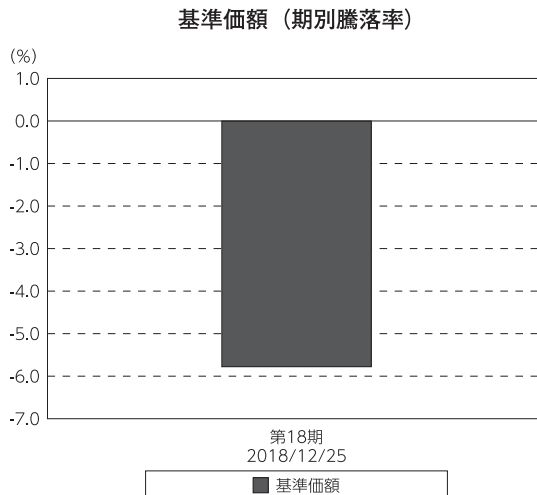
[野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案して決定しました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第18期
	2018年6月26日～ 2018年12月25日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.068%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	16,694

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

◎今後の運用方針

[野村新エマージング債券投信（南アフリカランドコース）年2回決算型]

[アライアンス・バーンスタイン・ファンドⅢ ーノムラ・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオークラスJZAシェア] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [アライアンス・バーンスタイン・ファンドⅢ ーノムラ・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオークラスJZAシェア] 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持します。

[アライアンス・バーンスタイン・ファンドⅢ ーノムラ・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオークラスJZAシェア]

米ドル建てのエマージング債券を主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を目指します。また、外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引等を活用し、米ドル建て資産を原則として米ドルを売り、南アフリカランドを買う為替取引を行ないます。

新興国においては、これまでの高成長と足元での直接投資の増加によって外貨準備・財政状況は改善しています。主な新興国のインフレ率は概ね安定推移しており、以前に比べ外生的な

要因への抵抗力が強くなっています。足元では外部環境要因を受けた調整色の強い相場が続いているものの、新興国のファンダメンタルズ（基礎的諸条件）の堅調さが損なわれることを憂慮するほどではないと考えており、むしろ価格面での魅力が増している側面も意識しながら、足元は外部要因の落ち着きを見計らう局面とみています。

国別では、ブラジルの大統領選挙後の政策動向、およびアルゼンチンの政治・経済環境に注目しています。一方、アジアについては、通商摩擦の影響などから中国の景気鈍化への懸念があるものの、対外収支が相対的に強固である点が支援材料になるとみています。

運用にあたっては市場の変動に注意を払いつつ、割安な投資機会について選別的な組入れを検討する方針です。個別国では、政治改革や財政面等での構造改革が進展するなど財政改善が見込める国や、資源価格の下落に対しても抵抗力のある国に注目しています。

なお、当ファンドは証拠金規制に則り、規制対象取引の評価損益について取引の相手方と証拠金の授受を行なう場合があります。

【野村マネー マザーファンド】

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご留意ください。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響を受け、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年6月26日～2018年12月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 74	% 0.476	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(29)	(0.190)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(42)	(0.271)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	74	0.477	
期中の平均基準価額は、15,491円です。			

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年6月26日～2018年12月25日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	アライアンス・バーンスタイン・ファンドⅢ -ノムラ・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオークラスJ Zシエア	715	3,200	4,067	18,145

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年6月26日～2018年12月25日)

利害関係人との取引状況

＜野村新エマージング債券投信（南アフリカランドコース）年2回決算型＞

該当事項はございません。

＜野村マネー マザーファンド＞

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 11,208	百万円 551	% 4.9	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2018年12月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
アライアンス・バーンスタイン・ファンドⅢ - ノムラ・エマージング・ マーケット・ボンド・ポートフォリオークラスJ ZAシェア	口 5,575	口 2,223	千円 9,578	% 98.1
合 計	5,575	2,223	9,578	98.1

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネー マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年12月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 9,578	% 95.8
野村マネー マザーファンド	10	0.1
コール・ローン等、その他	405	4.1
投資信託財産総額	9,993	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,993,677
コール・ローン等	305,042
投資信託受益証券(評価額)	9,578,907
野村マネー マザーファンド(評価額)	10,028
未収入金	99,700
(B) 負債	230,013
未払金	100,000
未払収益分配金	6,597
未払解約金	26,657
未払信託報酬	96,575
その他未払費用	184
(C) 純資産総額(A-B)	9,763,664
元本	6,597,873
次期繰越損益金	3,165,791
(D) 受益権総口数	6,597,873口
1万円当たり基準価額(C/D)	14,798円

(注) 期首元本額は17,241,389円、期中追加設定元本額は183,778円、期中一部解約元本額は10,827,294円、1口当たり純資産額は1.4798円です。

○損益の状況 (2018年6月26日～2018年12月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	570,659
受取配当金	570,750
支払利息	△ 91
(B) 有価証券売買損益	△1,109,331
売買益	412,629
売買損	△1,521,960
(C) 信託報酬等	△ 96,759
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 635,431
(E) 前期繰越損益金	1,882,380
(F) 追加信託差損益金	1,925,439
(配当等相当額)	(4,002,600)
(売買損益相当額)	(△2,077,161)
(G) 計(D+E+F)	3,172,388
(H) 収益分配金	△ 6,597
次期繰越損益金(G+H)	3,165,791
追加信託差損益金	1,925,439
(配当等相当額)	(4,002,600)
(売買損益相当額)	(△2,077,161)
分配準備積立金	7,011,994
繰越損益金	△5,771,642

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2018年6月26日～2018年12月25日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2018年6月26日～ 2018年12月25日
a. 配当等収益(経費控除後)	473,908円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,002,600円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	6,544,683円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	11,021,191円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	16,704円
g. 分配金	6,597円
h. 分配金(1万円当たり)	10円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	10円
----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2018年12月25日現在)

<野村マネー マザーファンド>

下記は、野村マネー マザーファンド全体(11,256,976千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期		末				
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
地方債証券	452,000	453,118	3.9	—	—	—	3.9
	(452,000)	(453,118)	(3.9)	(—)	(—)	(—)	(3.9)
特殊債券 (除く金融債)	600,000	600,173	5.2	—	—	—	5.2
	(600,000)	(600,173)	(5.2)	(—)	(—)	(—)	(5.2)
金融債券	1,350,000	1,350,445	11.8	—	—	—	11.8
	(1,350,000)	(1,350,445)	(11.8)	(—)	(—)	(—)	(11.8)
普通社債券 (含む投資法人債券)	3,500,000	3,504,177	30.5	—	—	—	30.5
	(3,500,000)	(3,504,177)	(30.5)	(—)	(—)	(—)	(30.5)
合 計	5,902,000	5,907,914	51.4	—	—	—	51.4
	(5,902,000)	(5,907,914)	(51.4)	(—)	(—)	(—)	(51.4)

* () 内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
地方債証券	%	千円	千円
北海道 公募平成21年度第2回	1.66	100,000	100,691
大阪府 公募第322回	1.62	252,000	252,395
名古屋市 公募(5年)第19回	0.25	100,000	100,030
小 計		452,000	453,118
特殊債券(除く金融債)			
日本政策金融公庫債券 政府保証第27回	0.372	60,000	60,162
日本学生支援債券 財投機関債第46回	0.001	190,000	190,009
国際協力機構債券 第16回財投機関債	0.3	120,000	120,001
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 財投機関債第97回	0.001	230,000	230,000
小 計		600,000	600,173
金融債券			
商工債券 利付第764回い号	0.3	50,000	50,015
商工債券 利付第765回い号	0.25	900,000	900,390
農林債券 利付第763回い号	0.3	300,000	300,020
商工債券 利付(3年)第192回	0.17	100,000	100,018
小 計		1,350,000	1,350,445
普通社債券(含む投資法人債券)			
中部電力 第426回	2.75	500,000	501,141
九州電力 第407回	1.558	700,000	700,827
三菱電機 第44回社債間限定同順位特約付	0.27	200,000	200,230
三菱東京UFJ銀行 第154回特定社債間限定同順位特約付	0.255	500,000	500,388
三井住友銀行 第59回社債間限定同順位特約付	0.254	500,000	500,380
みずほ銀行 第35回特定社債間限定同順位特約付	0.285	200,000	200,056
東京センチュリーリース 第15回社債間限定同順位特約付	0.11	100,000	100,032
トヨタファイナンス 第71回社債間限定同順位特約付	0.001	200,000	200,000
三菱UFJリース 第29回社債間限定同順位特約付	0.304	300,000	300,357
三菱地所 第108回担保提供制限等財務上特約無	0.631	300,000	300,762
小 計		3,500,000	3,504,177
合 計		5,902,000	5,907,914

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 2,199,996	% 19.1

*比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

野村マネー マザーファンド

運用報告書

第16期（決算日2018年8月20日）

作成対象期間（2017年8月22日～2018年8月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の公社債等に投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率	純総資産額
		騰落	中率					
	円		%	%		%		百万円
12期(2014年8月19日)	10,199		0.1	59.7		—		8,648
13期(2015年8月19日)	10,206		0.1	44.7		—		22,034
14期(2016年8月19日)	10,211		0.0	68.6		—		19,722
15期(2017年8月21日)	10,208		△0.0	64.0		—		17,754
16期(2018年8月20日)	10,206		△0.0	38.7		—		13,511

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

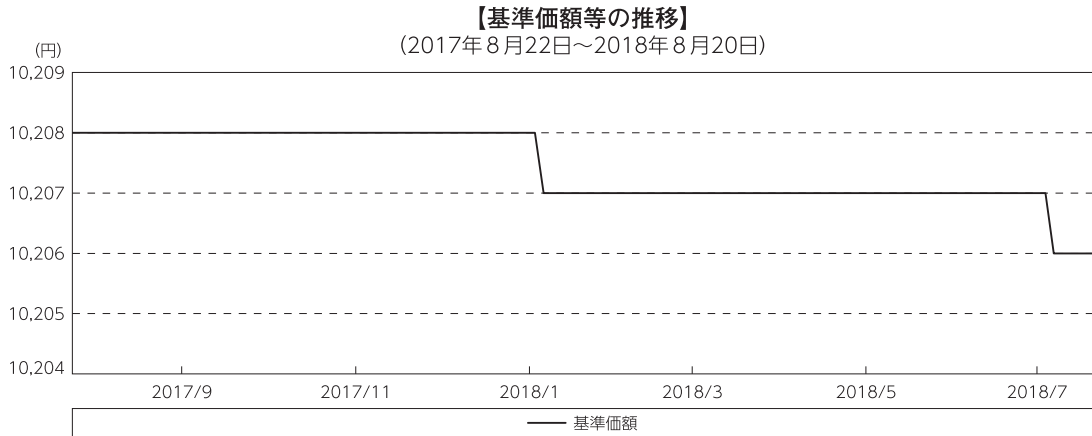
年月日	基準	価額		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
		騰落	率				
(期首) 2017年8月21日	円		%		%		%
	10,208		—		64.0		—
8月末	10,208		0.0		56.6		—
9月末	10,208		0.0		63.9		—
10月末	10,208		0.0		51.7		—
11月末	10,208		0.0		66.0		—
12月末	10,208		0.0		51.5		—
2018年1月末	10,208		0.0		46.2		—
2月末	10,207		△0.0		55.1		—
3月末	10,207		△0.0		45.2		—
4月末	10,207		△0.0		46.3		—
5月末	10,207		△0.0		40.7		—
6月末	10,207		△0.0		24.4		—
7月末	10,207		△0.0		35.3		—
(期末) 2018年8月20日	10,206		△0.0		38.7		—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

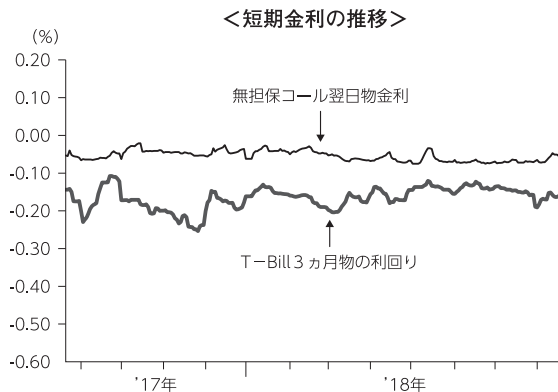
投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

○投資環境

国内経済は、高水準にある企業収益や雇用・所得環境の改善継続等を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、2018年7月には金融緩和の持続性を高める観点から、政策金利の「フォワードガイダンス」追加、長期金利目標の柔軟化等の「強力な金融緩和継続のための枠組み強化」を導入しました。

マイナス金利政策のもと、無担保コール翌日物金利は-0.05%程度、T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは概ね-0.1%台で推移しました。



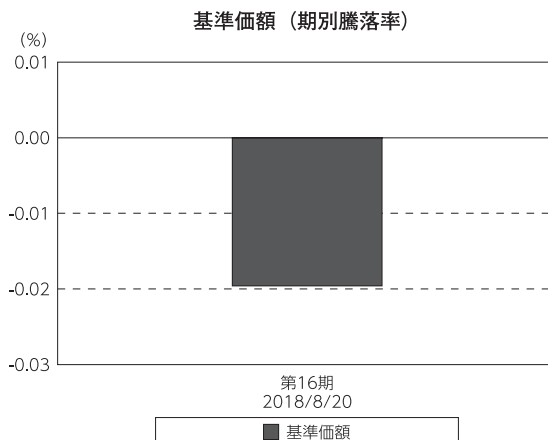
○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2017年8月22日～2018年8月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2017年8月22日～2018年8月20日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	国債証券	690,234	690,233
	地方債証券	3,695,131	— (7,082,100)
内	特殊債券	13,257,967	— (13,445,000)
	社債券（投資法人債券を含む）	7,946,048	— (10,449,000)

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分です。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

その他有価証券

		買付額	売付額
		千円	千円
内	コマーシャル・ペーパー	22,599,981	— (19,100,000)

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2017年8月22日～2018年8月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 24,899	百万円 1,719	% 6.9	百万円 -	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2018年8月20日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			未			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	622,000 (622,000)	624,351 (624,351)	4.6 (4.6)	- (-)	- (-)	- (-)	4.6 (4.6)
特殊債券 (除く金融債)	1,340,000 (1,340,000)	1,342,467 (1,342,467)	9.9 (9.9)	- (-)	- (-)	- (-)	9.9 (9.9)
金融債券	1,750,000 (1,750,000)	1,751,319 (1,751,319)	13.0 (13.0)	- (-)	- (-)	- (-)	13.0 (13.0)
普通社債券 (含む投資法人債券)	1,500,000 (1,500,000)	1,505,675 (1,505,675)	11.1 (11.1)	- (-)	- (-)	- (-)	11.1 (11.1)
合 計	5,212,000 (5,212,000)	5,223,813 (5,223,813)	38.7 (38.7)	- (-)	- (-)	- (-)	38.7 (38.7)

* ()内は非上場債で内書きです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
地方債証券	%	千円	千円	
神奈川県 公募第158回	1.53	30,000	30,150	2018/12/20
大阪府 公募第322回	1.62	252,000	253,785	2019/1/29
大阪府 公募(5年)第100回	0.244	300,000	300,210	2018/11/28
横浜市 公募公債平成20年度5回	1.58	40,000	40,205	2018/12/20
小 計		622,000	624,351	
特殊債券(除く金融債)				
地方公営企業等金融機構債券 政府保証第1回	1.6	110,000	110,259	2018/10/16
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第44回	1.62	130,000	130,696	2018/12/20
地方公共団体金融機構債券 F39回	0.808	100,000	100,026	2018/8/28
中日本高速道路債券 財投機関債第5回	1.86	1,000,000	1,001,484	2018/9/20
小 計		1,340,000	1,342,467	
金融債券				
農林債券 利付第762回い号	0.3	700,000	700,563	2018/11/27
しんきん中金債券 利付第287回	0.3	450,000	450,266	2018/10/26
しんきん中金債券 利付第288回	0.3	600,000	600,489	2018/11/27
小 計		1,750,000	1,751,319	
普通社債券(含む投資法人債券)				
関西電力 第469回	1.7	300,000	300,916	2018/10/25
トヨタ自動車 第8回社債間限定同等特約付	2.01	100,000	100,664	2018/12/20
みずほ銀行 第35回特定社債間限定同順位特約付	0.285	200,000	200,244	2019/1/25
住友不動産 第91回社債間限定同順位特約付	0.355	100,000	100,065	2018/10/29
N T T ドコモ 第17回社債間限定同順位特約付	1.77	200,000	200,305	2018/9/20
N T T データ 第22回社債間限定同順位特約付	1.78	600,000	603,478	2018/12/20
小 計		1,500,000	1,505,675	
合 計		5,212,000	5,223,813	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

国内その他有価証券

区 分	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円	%	千円	%
	4,399,994	32.6		

*比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年8月20日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円	%	千円	%
	5,223,813	38.7		
その他有価証券	4,399,994	32.6		
コール・ローン等、その他	3,887,777	28.7		
投資信託財産総額	13,511,584	100.0		

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年8月20日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	13,511,584,519
コール・ローン等	3,870,450,958
公社債(評価額)	5,223,813,703
その他有価証券	4,399,994,713
未収利息	7,275,528
前払費用	10,049,617
(B) 負債	7,765
未払利息	7,765
(C) 純資産総額(A-B)	13,511,576,754
元本	13,238,234,160
次期繰越損益金	273,342,594
(D) 受益権総口数	13,238,234,160口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,206円

(注) 期首元本額は17,392,173,897円、期中追加設定元本額は3,349,850,829円、期中一部解約元本額は7,503,790,566円、1口当たり純資産額は1.0206円です。

○損益の状況 (2017年8月22日～2018年8月20日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	61,118,125
受取利息	63,841,658
支払利息	△ 2,723,533
(B) 有価証券売買損益	△ 63,824,623
売買損	△ 63,824,623
(C) 当期損益金(A+B)	△ 2,706,498
(D) 前期繰越損益金	361,951,541
(E) 追加信託差損益金	69,639,721
(F) 解約差損益金	△ 155,542,170
(G) 計(C+D+E+F)	273,342,594
次期繰越損益金(G)	273,342,594

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末 元本額
	円
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド30(非課税適格機関投資家専用)	5,423,785,404
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド50(適格機関投資家専ら制限付)	3,324,627,145
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)Dプライス(適格機関投資家専用)	3,161,244,481
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)Eプライス(適格機関投資家専用)	389,222,673
野村日本ブランド株投資(マネーボールファンド)年2回決算型	184,452,030
野村世界高金利通貨投信	151,953,753
野村日経225 ショート・ファンド(適格機関投資家専用)	120,493,731
野村DC運用戦略ファンド	85,180,134
ノムラ・アジア・シリーズ(マネーボール・ファンド)	68,081,734
野村高金利国際機関債投信(毎月分配型)	49,354,623
野村米国ハイ・イールド債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	21,108,661
ネクストコア	19,922,154
野村世界業種別投資シリーズ(マネーボール・ファンド)	15,498,603
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(マネーボールファンド)年2回決算型	13,341,293
野村新中国株投資 マネーボール・ファンド	12,802,829
野村新エマージング債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	11,360,223
野村DC運用戦略ファンド(マイルド)	7,492,405
野村米国ハイ・イールド債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	6,950,162
第12回 野村短期公社債ファンド	6,664,982
第9回 野村短期公社債ファンド	5,094,831
野村新興国消費関連株投信 マネーボール・ファンド	5,061,963
第2回 野村短期公社債ファンド	3,919,169
野村グローバルCB投信(マネーボールファンド)年2回決算型	3,907,760
野村ビクテ・ヘルスケア マネーボール・ファンド	3,546,551

ファンド名	当期末 元本額
	円
第1回 野村短期公社債ファンド	3,037,421
米国変動好金利ファンド Aコース	2,952,997
第5回 野村短期公社債ファンド	1,959,729
第10回 野村短期公社債ファンド	1,959,728
第11回 野村短期公社債ファンド	1,861,757
第3回 野村短期公社債ファンド	1,371,897
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	1,230,043
第4回 野村短期公社債ファンド	1,077,981
第6回 野村短期公社債ファンド	1,077,981
野村・グリーン・テクノロジー マネーボール・ファンド	1,019,915
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,834
野村グローバルCB投信(円コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(円コース)年2回決算型	984,543
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,543
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,543
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)毎月分配型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)毎月分配型	984,252

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投資(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投資(円コース) 年2回決算型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投資(豪ドルコース) 年2回決算型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投資(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	984,252
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース) 毎月分配型	983,768
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース) 毎月分配型	983,768
野村米国ブランド株投資(円コース) 年2回決算型	983,768
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース) 年2回決算型	983,768
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース) 年2回決算型	983,768
ノムラ・グローバルトレンド(円コース) 毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース) 毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース) 毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(円コース) 年2回決算型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース) 年2回決算型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース) 年2回決算型	983,672
野村テンブルトン・トータル・リターン Aコース	983,381
野村テンブルトン・トータル・リターン Cコース	983,381
野村テンブルトン・トータル・リターン Dコース	983,381
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース) 毎月分配型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース) 年2回決算型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	983,091
野村アジアハイ・イールド債券投資(円コース) 毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投資(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投資(アジア通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投資(円コース) 年2回決算型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投資(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投資(アジア通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,898
野村豪ドル債オープン・プレミアム 毎月分配型	982,801
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(欧州通貨コース)	982,609
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(円コース)	982,609
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(豪ドルコース)	982,609
野村日本ブランド株投資(円コース) 毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース) 毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース) 毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース) 年2回決算型	982,609
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース) 年2回決算型	982,609
野村米国ハイ・イールド債券投資(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,609
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投資(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,608
野村新世界高金利通貨投資	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投資(円コース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投資(豪ドルコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投資(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投資(南アフリカランドコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投資(トルコリラコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投資(豪ドルコース) 年2回決算型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投資(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース) 毎月分配型	982,608
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村日本ブランド株投資(円コース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース) 年2回決算型	982,608
野村新米國ハイ・イールド債券投資(円コース) 毎月分配型	982,608
野村新米國ハイ・イールド債券投資(豪ドルコース) 毎月分配型	982,608
野村新米國ハイ・イールド債券投資(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村新米國ハイ・イールド債券投資(南アフリカランドコース) 毎月分配型	982,608
野村新米國ハイ・イールド債券投資(トルコリラコース) 毎月分配型	982,608

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村新米國ハイ・イールド債券投資(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村PMCO・グローバル・アドバンテージ債券投資 Aコース	982,608
野村新エマージング債券投資(円コース) 毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投資(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投資(インドネシアルピアコース) 毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投資(円コース) 年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投資(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投資(中国元コース) 年2回決算型	982,608
野村アジアCB投資(毎月分配型)	982,608
野村PMCO新興国インフラ関連債券投資(アジア通貨コース) 毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(円コース) 毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(円コース) 年2回決算型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース) 毎月分配型	982,607
野村新エマージング債券投資(豪ドルコース) 毎月分配型	982,607
野村新エマージング債券投資(中国元コース) 毎月分配型	982,607
野村PMCO新興国インフラ関連債券投資(円コース) 毎月分配型	982,607
野村PMCO新興国インフラ関連債券投資(資源国通貨コース) 毎月分配型	982,607
野村日本高配当株プレミアム(円コース) 毎月分配型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(円コース) 年2回決算型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,415
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース) 毎月分配型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース) 年2回決算型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,029
野村カルミニャック・ファンド Aコース	981,547
野村カルミニャック・ファンド Bコース	981,547
野村通貨選択日本株投資(米ドルコース) 毎月分配型	981,451
野村通貨選択日本株投資(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	981,451
野村通貨選択日本株投資(メキシコペソコース) 毎月分配型	981,451
野村通貨選択日本株投資(米ドルコース) 年2回決算型	981,451
野村通貨選択日本株投資(メキシコペソコース) 年2回決算型	981,451
野村エマージング債券プレミアム 毎月分配型	981,451
野村エマージング債券プレミアム 年2回決算型	981,451
ノムラ THE USA Aコース	981,258
ノムラ THE USA Bコース	981,258
米国変動好金利ファンド Bコース	981,066
野村グローバルボンド投資 Bコース	980,489
野村グローバルボンド投資 Dコース	980,489
野村グローバルボンド投資 Fコース	980,489
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース) 毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース) 毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース) 年2回決算型	980,297
ノムラ THE ASIA Bコース	979,912
グローバル・ストック Bコース	979,528
グローバル・ストック Dコース	979,528
第7回 野村短期公社債ファンド	686,093
野村通貨選択日本株投資(インドルビーコース) 毎月分配型	568,479
野村豪ドル債オープン・プレミアム 年2回決算型	491,401
野村通貨選択日本株投資(豪ドルコース) 毎月分配型	457,265
野村通貨選択日本株投資(豪ドルコース) 年2回決算型	434,099
野村通貨選択日本株投資(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	406,687
野村通貨選択日本株投資(インドルビーコース) 年2回決算型	220,902
野村通貨選択日本株投資(トルコリラコース) 毎月分配型	123,377
野村米国ハイ・イールド債券投資(通貨セレクトコース) 年2回決算型	98,262
野村米国ハイ・イールド債券投資(米ドルコース) 毎月分配型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投資(ユーロコース) 毎月分配型	98,261

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	98,261
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース)毎月分配型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(インドネシアルピアコース)年2回決算型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	98,261
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	98,261
野村テンブルトン・トータル・リターン Bコース	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	98,261
第8回 野村短期社債ファンド	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,260
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	98,260
野村PIMCO・グローバル・アドバンテージ債券投信 Bコース	98,260
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,260
ノムラ THE EUROPE Aコース	98,117
ノムラ THE EUROPE Bコース	98,117
野村グローバルボンド投信 Aコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Cコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Eコース	98,049
ノムラ THE ASIA Aコース	97,992
グローバル・ストック Aコース	97,953
グローバル・ストック Cコース	97,953
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース)毎月分配型	80,956
野村通貨選択日本株投信(中国元コース)毎月分配型	58,906
野村通貨選択日本株投信(中国元コース)年2回決算型	57,201
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース)年2回決算型	52,622
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース)毎月分配型	48,092
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース)年2回決算型	36,702
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース)年2回決算型	13,741
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA1向け)	10,000
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース)年2回決算型	9,826

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	9,826
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Aコース	9,818
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Bコース	9,818
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース)毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,809
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース)年2回決算型	9,809
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,808
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,808
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,807
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,807
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,805
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)毎月分配型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)年2回決算型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース)年2回決算型	9,803
野村新興国高配当株トリプルウイング ブラジルリアル毎月分配型	9,803
ビムコ・世界インカム戦略ファンド(円コース)	9,803
ビムコ・世界インカム戦略ファンド(米ドルコース)	9,803
ビムコ・世界インカム戦略ファンド(世界通貨分散コース)	9,803
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA・EW向け)	9,801
野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)	9,801
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)毎月分配型	9,797
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)年2回決算型	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Aコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Bコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Cコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Dコース	9,797
野村ファンドラップ債券プレミア	9,795
野村ファンドラップオルタナティブプレミア	9,795
野村グローバル・クオリティ・グロース Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村グローバル・クオリティ・グロース Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース)年2回決算型	4,908
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース)毎月分配型	1,963

○お知らせ

該当事項はございません。

「野村新エマージング債券投信（通貨選択型）」（マネープールファンド（年2回決算型）を除く）の
お申し込み時の留意点

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

（2018年12月25日現在）

ファンド名 年 月	「円コース」 「米ドルコース」 「豪ドルコース」 「南アフリカランドコース」	「ブラジルリアルコース」	「中国元コース」	「インドネシアルピアコース」
2018年12月	25、26	25、26	25、26	25、26
2019年1月	21	21、25	21	21
2月	18	18	4、5、6、7、8、18	5、18
3月	－	4、5	－	7
4月	19、22	19、22	5、19、22	3、19、22
5月	27、30	27、30	27、30	27、30
6月	10	10、20	7、10	3、4、5、6、7、10
7月	4	4、9	4	4
8月	15	15	15	15
9月	2	2	2、13	2
10月	－	－	1、2、3、4、7	－
11月	1、11、28	1、11、15、20、28	1、11、28	1、11、28
12月	24、25、26	24、25、26	24、25、26	24、25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識している情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ（<http://www.nomura-am.co.jp/>）にも掲載いたしております。